

DUAL SBC

DUAL-SOLENOID BOOST CONTROLLER

"BLITZ" —means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1977 "BLITZ" has developed and evolved automotive.

BLITZ ELECTRIC TUNING SYSTEM

取り扱い説明書

BLITZ

はじめに

この度は本製品をお買い上げいただき誠に有り難うございます。本製品は精密電子装置であるため、取り付け、操作に際しては説明書にしたがって十分に注意して行って下さい。

目 次

はじめに	P 1
購入されたら最初に	P 2
特 徴	P 2
装着可能自動車と商品名	P 2
ご注意	P 3
製品についてのご相談先	P 3
パーツリスト	P 4
DUAL SBC取り付け方法	P 5
取り付け上のご注意	P 5
バルブユニットの取り付け	P 5
バルブユニットの配管	P 5
コントローラーの取り付け	P 8
各部名称	P 9
モード説明	P 10
操作説明 1 (基本操作)	P 13
ブースト圧設定	P 13
ワーニングモード	P 14
ブースト計表示、ピークホールド表示	P 14
操作説明 2 (応用操作)	P 15
リミッターモード	P 15
スクランブルモード	P 16
GAIN調整モード	P 18
確 認	P 19
車種別配管方法	P 20
初期設定	P 29
バックアップ	P 29
仕 様	P 29

購入されたら最初に

- 本製品はターボチャージャーの加給圧を調整する装置です。燃料増量は行っておりません。
- 本製品をご使用になる前に、本取扱説明書を必ずお読みください。

特 徴

- コントローラーとバルブユニットの2ピース構造、コントローラーはコンパクトな1/4 DINサイズです。
- 操作部は2つのツマミがあり、プッシュボタンと回転ボリュームを兼ねていて、操作性を向上させています。
- 表示部にはLCDを使い昼夜共に視認性を向上させています。
- 設定ブースト圧は4段階まで個別に設定できます。
- 機能はブーストコントローラーの他に、ブースト計（ピークホールド機能付き）、ワーニング機能、リミッター機能、スクランブル機能があります。
- 小型ソレノイドバルブをツインで使用するにより、立ち上がりレスポンスと高ブースト時の安定性を確保しています。
- ウェイストゲート、アクチュエータータイプのどちらでもスイッチひとつで切り換えが可能です。
- ボタン操作時とワーニングオーバー時はブザーが鳴り確認が容易です。

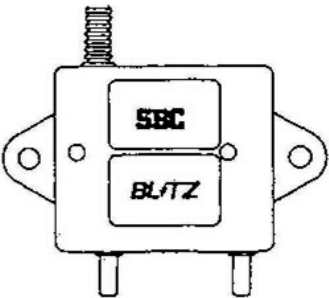
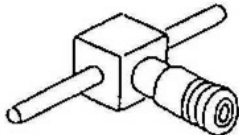
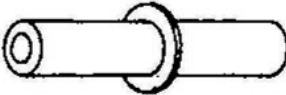
装着可能自動車と商品名

- 車 両：電気回路が12Vのターボチャージャー付き車両
- 製品名称：DUAL-SBC
- 製品番号：14044/15044
- 使用目的：ターボチャージャー付き車両の加給圧の制御と表示

ご注意

- パーツリストにより、パーツ内容を必ず確認して下さい。
- 加給圧の上げ過ぎや、燃料ポンプの容量不足による燃圧低下などにより、エンジン破損などを引き起こす恐れがありますので、調整には十分注意して下さい。これらにより引き起こされたエンジン破損のトラブルに関しては、当社は一切責任は負いかねます。
- 装着車両にこの製品以外の製品装着は改造を行った場合に発生する不具合に関しては、当社は一切責任を負いかねます。
- お客様ご本人または第三者の方が、この製品及び不属品の誤った使用やその使用中に生じた故障、その他不具合によって受けられた損害については、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了解ください。
- 本製品は精密装置のため、誤配線及び大きな衝撃により破損する場合があります。取り付けに際しては十分注意して下さい。
- この製品及び不属品は、改良のため予告なく変更することがあります。
- コントローラーの取り付けは直射日光のあたる場所は避けてください。

パーツリスト

		
コントローラー X 1	バルブユニット X 1	メインハーネス x 1
		
ゴムホース (60X1M) X 2	ナイロンホース40X2M x 1	Tジョイントニップル X 1
		
ジョイントパイプ (60x60) x 2	ナイロンホースジョイント X 1	ホースバンド X 6

その他パーツ

●クレセントクランプ	X 2	●ボルト (M6 X 20)	X 2
●エレクトロタップ	X 2	●ナット (M6)	X 2
●丸端子ギボシセット	X 1	●SPワッシャー (M6)	X 2
●マジックテープ (コントローラー用)	x 1	●平ワッシャー (M6)	X 2
●両面テープ	X 1	●本取り扱い説明書	X 1
●製品のご説明	X 1	●保証書	X 1

DUAL SBC取り付け方法

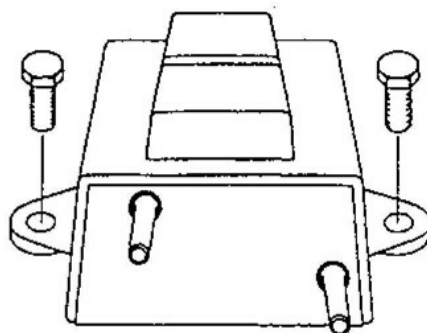
■取り付け上のご注意

1. バルブユニットにゴムホースを配管するとき、IN OUTの方向を間違えないようにご注意ください。
2. 各結合部にはエアリークがないことを確認して下さい。
 - ホースは垂直にカットして下さい
 - ホースは差し込んで抜けない事を確認して下さい
 - ナイロンホースを抜くときは、コレットキャップを押して下さい。
3. ホースは熱の影響を受けにくい所を通して下さい。
4. 取り付けは運転上差し支えない所に取り付けて下さい。
5. DUAL SBCを取り付けて加給圧を上げた場合、必ずブーストによるフューエルカットが働きます。この時、別売りのブーストジャンパー及びアクセスCPUを取り付けて下さい。

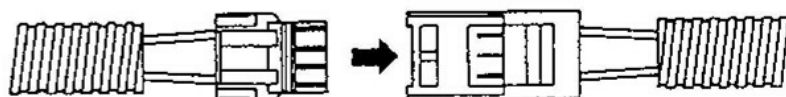
1. バルブユニットの取り付け

- 1) エンジンルーム内のあまり高温にならない所、(但しT/Cからの配管が1m以内になる所へ取り付けして下さい。

注) 配管が長くなりますと、応答遅れの原因となり、ハンチングやオーバーシュートが発生します。

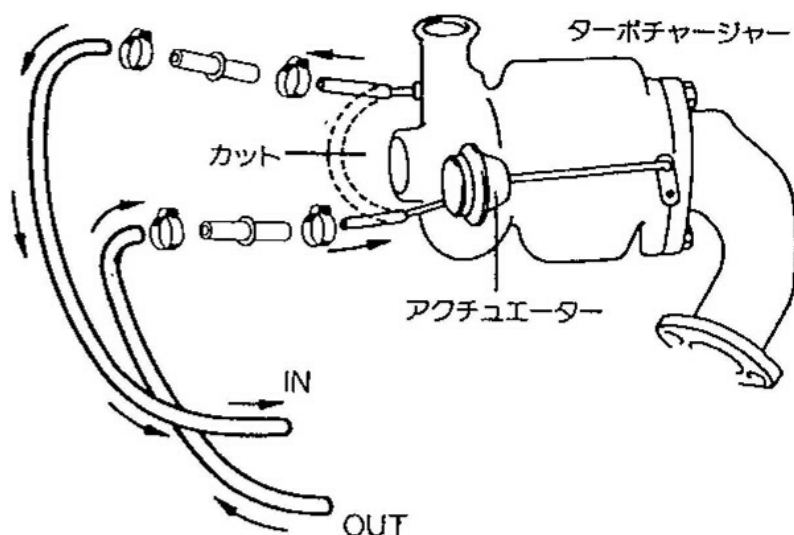


- 2) バルブユニットの底面にあるコネクタに、コントローラー接続用ハーネスを差し込んで下さい。

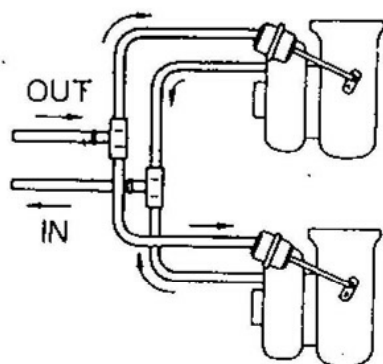


アクチュエータータイプ

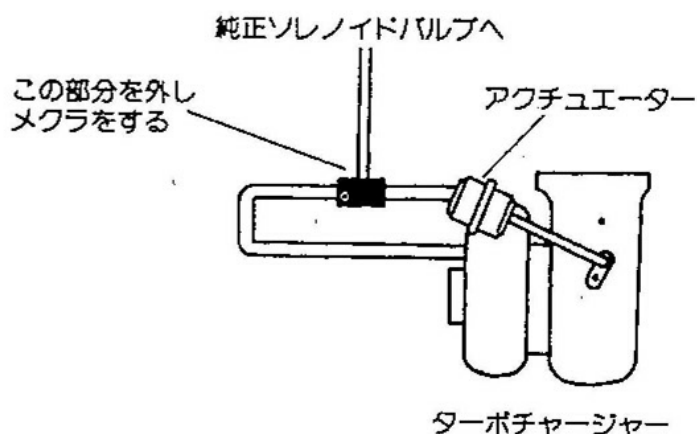
- 1) アクチュエーターから、コンプレッサーとスロットルバルブまでの間に接続されているホースを適当な所で切断し、KIT内ジョイントパイプ (6パイ-6パイ) の一方を、それぞれ取り付けしKIT内ホースバンドで固定して下さい。
- 2) 各ジョイントパイプのコンプレッサー側をバルブユニットのINに、アクチュエーター側をアウトに接続し、KIT内ホースバンドで固定して下さい。



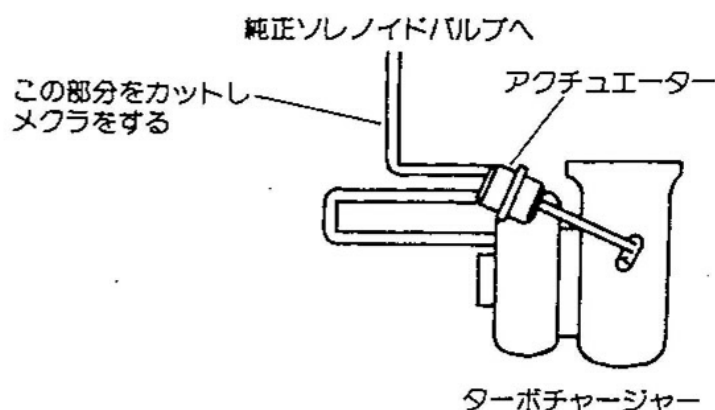
(純正ツインターボ車、アクチュエータータイプ)



●日産車である様なソレノイドバルブコントロール式は、ソレノイドに行く配管を外してメクラをして下さい。



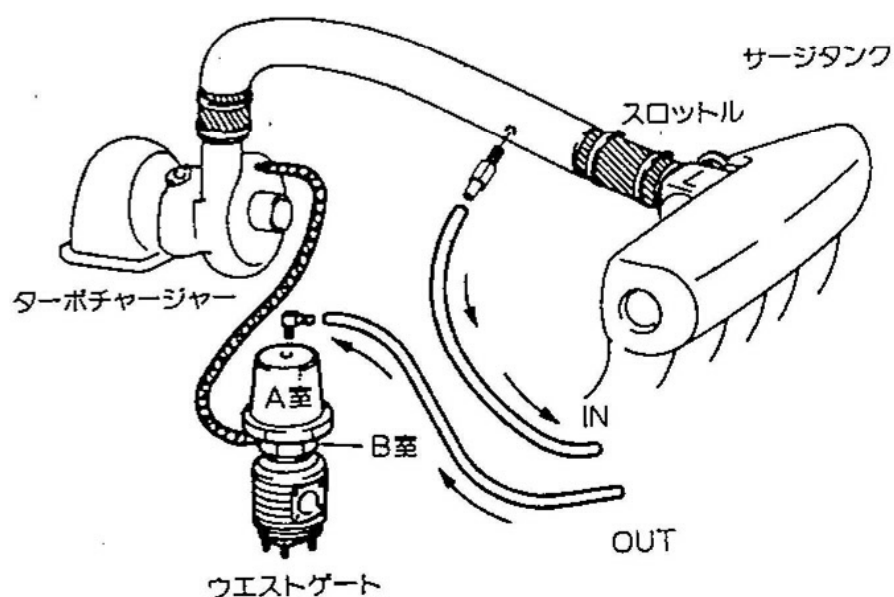
- トヨタ車である様な2モードブーストコントロール式は、ソレノイドに行く配管を外してアクチュエーター側、ソレノイド側、共にメクラをして下さい。



注) アクチュエーター側から、コンプレッサーとスロットルバルブ間の圧力取り出し部の間は、バルブユニットを通り一本の流れで配管して下さい。

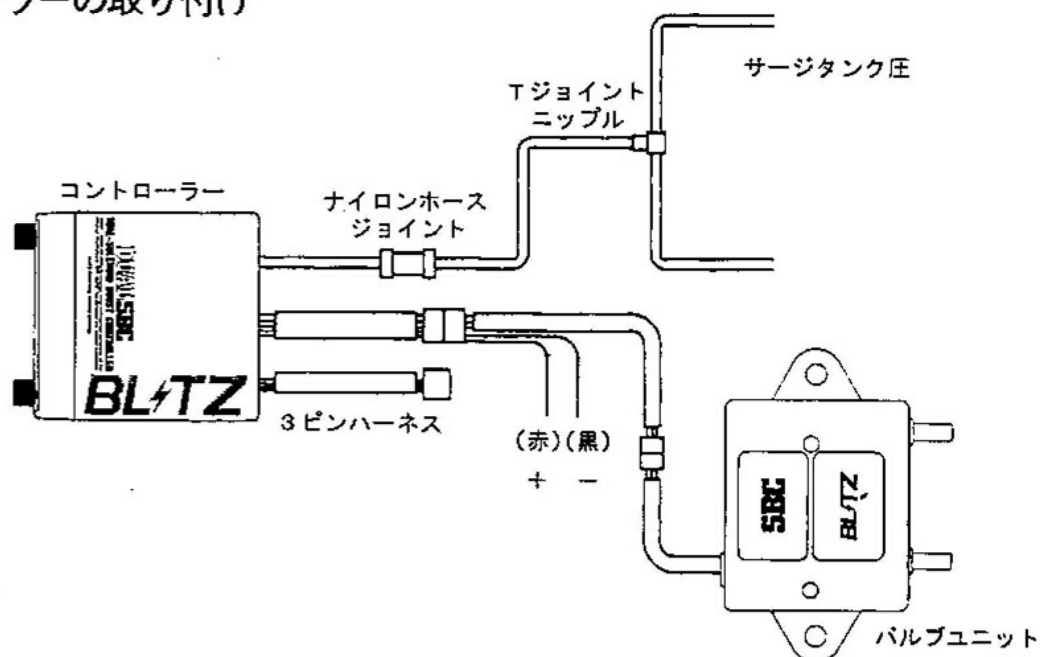
ウェストゲートタイプ

- 1) コンプレッサーからスロットルバルブまでの間から圧力を取り、バルブユニットのIN側へ接続し、KIT内ホースバンドで固定して下さい。
- 2) バルブユニットOUT側を、ウェストゲートA室へ接続します。
- 3) IN側へ接続する同じ圧力を、ウェストゲートB室へ直接接続します。



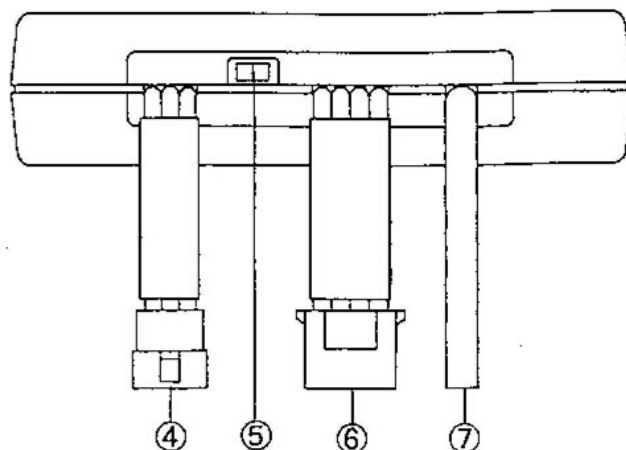
注) 圧力取出口はスロットルバルブより前(T/C～スロットル)

3. コントローラーの取り付け



- 1) メインハーネスのコネクターから出ている、電源+ (赤) を I G-ONで12Vかかる所へ接続し、GND- (黒) をボディーアースして下さい。
- 2) コントローラーのカプラーにメインハーネスを接続します。
- 3) メインハーネスのもう一方をバルブユニット側カプラーへ接続します。
- 4) コントロールボックスの切り替えスイッチをアクチュエーター (AC) からウェイトゲート (WG) のどちらか使用するモードへ切り替えて下さい。
- 5) エンジンルーム内のサージタンク (負圧から正圧まで全ての圧力を検出できる所) よりKIT内のTジョイントニップルとナイロンホース4パイで配管しクレセントクランプで固定します。ナイロンホースを室内に配管する際は折れたりつぶれたりしないように気を付けて下さい。
- 6) コントローラーの4パイナイロンホースにナイロンホースジョイントを使用して、5) のナイロンホースと接続します。
- 7) 3Pカプラーはオプションのマップコントローラー接続用です。通常は未接続にします。

各部名称



①左ツマミ

プッシュボタンと回転ボリューム兼用です。チャンネル設定等を行います。

②LCD表示画面

各表示を行います。

③右ツマミ

プッシュボタンと回転ボリューム兼用です。各チャンネルでの設定等を行います。

④3PINハーネス部

外部入力（オプション）を接続するときに使用します。

⑤AC/WG切り替えスイッチ

アクチュエーター、ウェイストゲートの切り替えを行います。

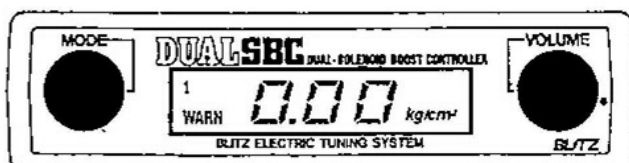
⑥4PINハーネス部

メインハーネスを接続します。

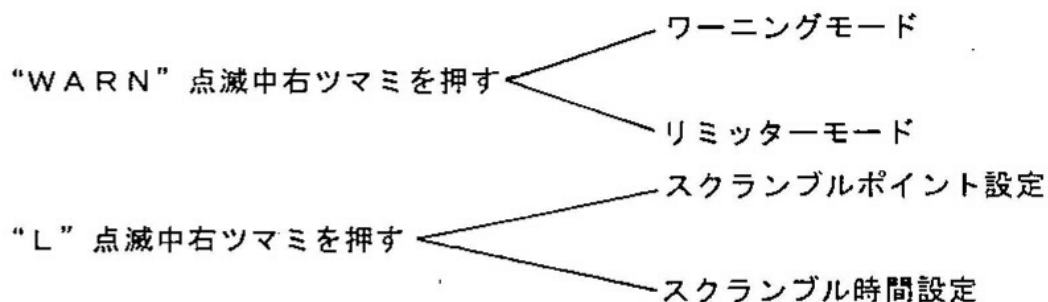
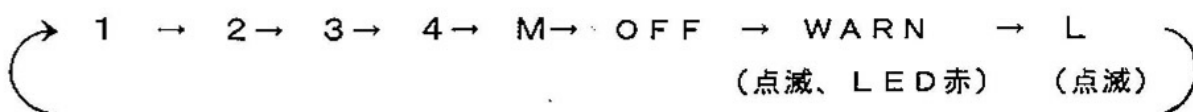
⑦配管部

サージタンクからの圧力を取ります。

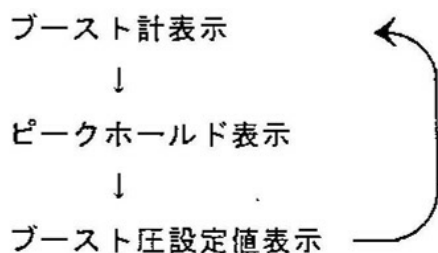
モード説明



左ツマミを右に回していくとモードが変わります。



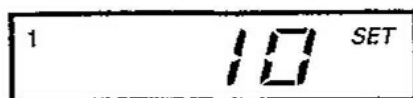
1、2、3、4、M、OFFのチャンネルの時に右ツマミを押すごとに表示が変わります



各モードにおける表示の切りかえ

左ツマミ回転	1. 2. 3. 4	M	OFF	WARN	L
右ツマミプッシュ	ブースト圧設定	0表示	---	ワーニングモード	スクランブルポイント設定
	ブースト計	ブースト計	ブースト計	リミッターモード	スクランブル時間設定
		ピークホールド		無し	無し

①ブースト圧設定モード (1、2、3、4)

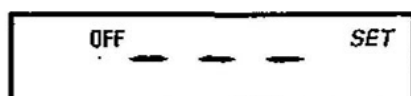


1、2、3、4、の各チャンネルでそれぞれ個別にブースト設定できます。

表示してあるモードでブースト制御をします。

* ブースト設定は1、2、3、4のいずれかが点滅している状態でないとできません。

②OFFモード



このモードで走行した場合、ブースト制御は行いません。

(ノーマルブーストになります)

本体の電源OFFはしません。

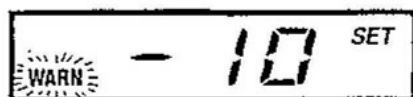
* ブースト表示、ピークホールド表示はできます。

③ワーニングモード、リミッターモード (LEDバックライト赤)

“WARN”点滅中に右ツマミを押すと以下の2つのモードが交互に切り替わります。



ワーニングモード：ワーニング値を設定します。



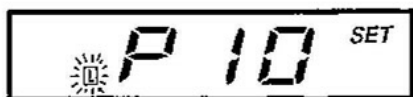
点滅

リミッターモード：ワーニング値までブースト圧が達した時に何ポイントブーストを下げるかを設定します。

このモードで走行した場合、ブースト制御は行いません。(ノーマルブーストになります)

④スクランブルモード

“L”点滅中に右ツマミを押すと以下の2つのモードが交互に切り替わります。



点滅

スクランブルポイント設定：スクランブルのブースト圧を設定します。



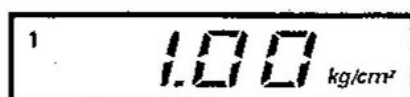
点滅

スクランブル時間設定：スクランブルの時間を設定します。(単位：秒)

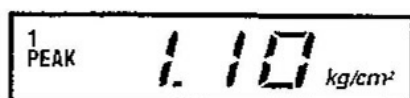
このモードで走行した場合、ブースト制御は行いません。(ノーマルブーストになります)

⑤ブースト、ピークホールド表示

1、2、3、4、OFF、M表示中右ツマミを押すごとに切り替わります。



ブースト計表示 : 現在のブースト圧を表示します。



ピークホールド表示 : ブーストのピーク値を表示します。

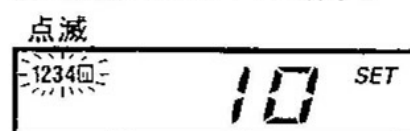
⑥外部入力モード (オプション)



オプションのマップコントローラーに対応します。接続しない場合はゼロ表示のままです。

⑦ゲイン調整モード

チャンネル1、2、3、4、M、OFF表示中に左ツマミを2秒以上押すと、1234Mすべてが点滅しGAIN調整モードになります。

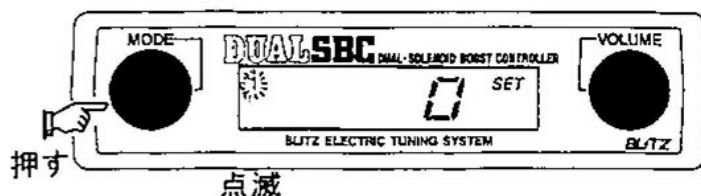


ゲイン調整を行います。

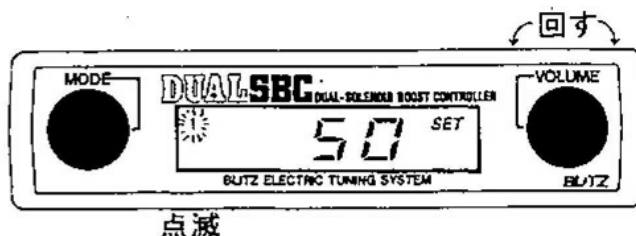
操作説明 1 (基本操作)

①ブースト圧設定

- 1) ブースト圧の設定は1、2、3、4のモードでそれぞれ個別に設定できます。設定するチャンネル(1~4)を表示させ左ツマミを押すとチャンネルのマークが点滅して設定モードになります。



- 2) 設定は右ツマミを右方向に回すとアップ、左方向に回すとダウンになります。
数値は0~100まで、1ポイント刻みです(ノーマルブーストより下げる事はできません)



設定中でも車を走行させた場合、その値でブースト制御をします。

注意：設定するポイント(0~100)はノーマルブーストに対する割合です。ブースト圧そのものではありません。

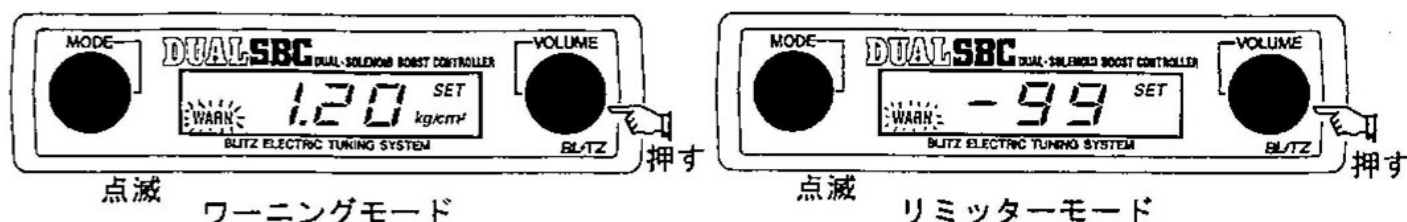
0に設定するとノーマルブースト、100に設定するとその車両のターボ系の限界までブーストが上がります。ご注意ください。

- 3) 設定終了は左ツマミを押すとチャンネルマークが点滅から点灯に変わり設定モードを終了します。(ピークホールド表示の場合は左ツマミを押してもピーク値のリセットにしません)

※実際に走行中ブースト計を表示させながらの設定も可能です。(③ブースト計表示、ピークホールド表示参照)

②ワーニングモード

“WARN”点滅中に右ツマミを押すごとにワーニングモード、リミッターモードに切り替わります。ここではワーニングモードのみ説明します。(リミッターモード 応用操作参照)



ワーニングモード：設定したブースト圧以上になるとLEDが赤く光り、警告音（ピピピッ音）が鳴ります。

設定方法：このモード表示中（点滅中）に右ツマミを右に回すとワーニング値が上がり、左に回すと下がります。

(0.00 kg/cm² ~ 2.50 kg/cm²)

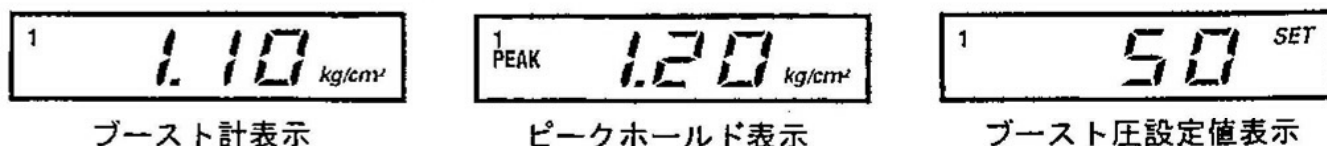
ワーニングを設定するとどのモードを表示しても“WARN”が表示（点灯）されます。

2.50 kg/cm²以上右に回すとワーニングはOFFになります。

OFF時はモード切り替えをした場合“WARN”表示しません。

③ブースト計表示、ピークホールド表示

チャンネルが1、2、3、4、M、OFFの時に右ツマミを押すごとにブースト計表示、ピークホールド表示、ブースト圧設定値表示に変わります。ブースト制御は表示されているチャンネルのモードで行われます。



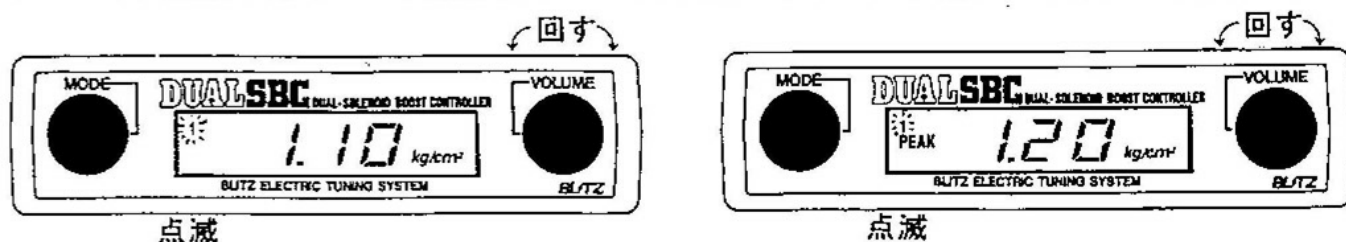
ピークホールドのリセットはピークホールド表示中に左ツマミを押すと行われます。

ピークホールド値はエンジンを切ってもリセットしない限りメモリーし続けます。但しピーク値表示中にGAIN設定モードに入るとピーク値はリセットされます。

ピークホールドのメモリーはOFFを含む全てのモードで行われます。

走行中にブースト計またはピークホールド表示をさせながらブースト圧の設定が出来ます。

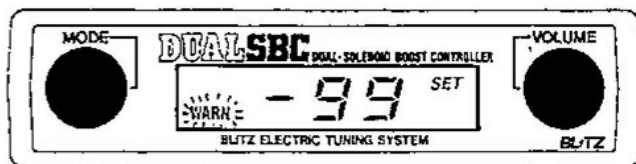
ブースト圧設定の時（1～4点滅時）にブースト、ピークホールド表示させ右ツマミを回します。



操作説明 2 (応用操作)

①リミッターモード

基本操作1にでてきたワーニング、リミッターモードのリミッターの操作説明をします。



点滅

リミッターモード：ワーニング値になると自動的にブースト圧を設定ポイント分下げます。

この数値はブースト圧ではありません。表示チャンネルのポイント値からの割合です。

ワーニングOFF時には作動しません。(OFF状態になります)

“-0”に設定すると作動しません。(OFF状態になります)

設定方法：このモード表示中に右ツマミを右に回すと数値が増え、左に回すと数値が減ります。

(-99~-0)

リミッターを設定するとどのモードでも“WARN”の文字が表示(点灯)します。

例

：SR20DET 180SXで

ブースト圧 1.0Kがボリューム55

0.8Kがボリューム40

ノーマルブーストが0.6K

チャンネル1でボリューム55であった場合

この車両で1.0Kをワーニングとしてブースト圧が1.0Kになった瞬間に0.8Kにブーストを下げたい場合、1.0Kが55で0.8Kが40ですから、 $55 - 40 = 15$ ですから-15と入力します。そして、チャンネル1を表示させて走行します。

※ノーマル値までのブースト圧までしか下げられません。

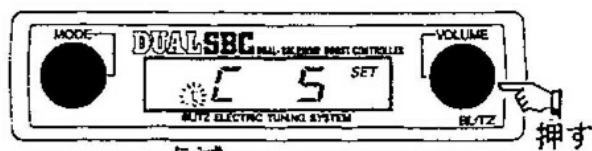
上記の例では0.6Kまでしか下げられません。

②スクランブルモード

設定した時間内のみスクランブル設定したブーストポイントになります。

ブーストを上げるだけでなく、下げることができます。一度作動したあとは負圧に下がるまでは作動しません。

“L”点滅中に右ツマミを押すごとにスクランブルポイント設定、時間設定に切り替わります。



スクランブルポイント設定：スクランブルするブースト圧のポイントを設定します。

この数値はブースト圧ではありません。設定チャンネル1～4のブースト圧から±何ポイントの表示です。

設定方法

：このモード表示中に右ツマミを右に回すとポイントが上がり左に回すと下がります。

(-99～P99)

ポイントを“P0”に合わせるとスクランブル作動しません。

(OFF状態になります。)

カウントを“C0”に合わせると作動しません。

(OFF状態になります。)

スクランブル時間設定

：スクランブルする時間の設定をします。単位は秒です。

設定方法

：このモード表示中に右ツマミを回すと数値が増え、左に回すと数値が減ります。

(C0～C99)

数値を“C0”に合わせるとスクランブル作動しません。

(OFF状態になります)

スクランブルポイントが“P0”の場合作動しません。

(OFF状態になります)

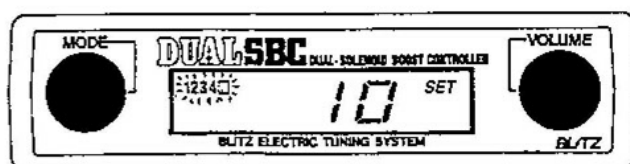
スクランブルを設定するとどのモードでも“L”の文字が表示(点灯)します。

例 1 : SR20DET 180SXで
ブースト圧 1.0Kがポリューム50
0.8Kがポリューム40
ノーマルブーストが0.6Kであった場合
スクランブルを1.0Kで3秒間維持させ0.8Kに下げたい場
合、ブースト圧1.0Kがポリューム50、0.8Kが40ですから
スクランブルモードでP10,C3と入力します。
そして、チャンネル設定を1,2,3,4のいずれかでポリューム
40を入力して走行します。

例 2 : 上記と同じ設定で
スクランブルを0.8Kで3秒間維持させ1.0Kに上げたい場合
スクランブルモードで-10,C3と入力します。
そして、チャンネル1,2,3,4のいずれかでポリューム50を
入力して走行します。

③ G A I N調整モード

G A I N調整をします。チャンネル1、2、3、4、M表示中に左ツマミを2秒以上押すと1 2 3 4 M全てが点滅しG A I N調整モードになります。(但し、ピークホールド表示中にG A I Nモードに入るとピークホールド値はリセットされます。)



点滅

設定方法

: 右ツマミを右に回すと数値が増え、左に回すと数値が減ります。
(0~100)

数値が増えるとオーバーシュートが出やすくなりますので、エンジンによって調整を行って下さい。

おおよその目安は下の表を参考にして下さい。

設定を終了するには左ボタンを押し1、2、3、4、Mの点滅が点灯に変われば終了です。

注意

: G A I N設定を変えるとブースト設定値はそのままでも安定する
ブースト圧は変化します。

DUAL-SBC ポリューム目安

	SR20DET	RB20DET	RB26DETT	1JZシングル	2JZ-GTE	13BT	4G63
	RPS13 MT	R32 MT	BNR32 MT	JZX100AT	JZA80 AT	FD3S MT 前期	CN9A
GAIN	20	20	5	5	5	5	20
OFF時	0.6Kg	0.75Kg	0.7Kg	0.75Kg	0.7Kg	0.5Kg	0.7Kg
0.7Kg	30	—	—	—	—	40	—
0.8Kg	40	25	40	40	30	50	30
0.9Kg	46	35	50	45	40	60	40
1.0Kg	55	40	55	50	50	70	48
1.1Kg		50	60	60	60		55
1.2Kg		55			65		60

上記のブースト圧目安はソレノイドバルブをメクラした場合です。
車の使用や個体差によってブースト圧は異なります。

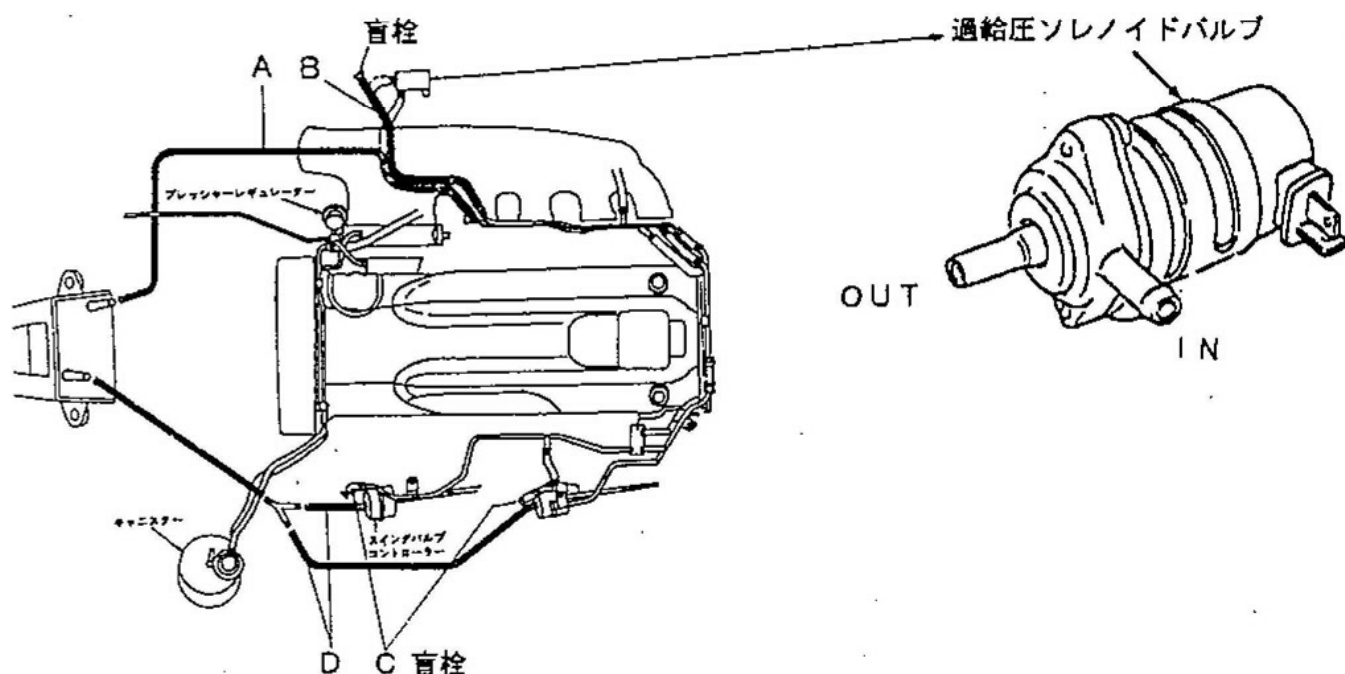
確 認

- 各部はしっかりと固定されているかを確認して下さい。長時間走行したときや加給圧を上げたときに部品等が外れますと、運転に支障をきたしたり本体の作動不良の原因となり危険です。
- 配線、配管を間違えていないかを確認して下さい。また、配線、配管に不具合がありますと本体の作動不良の原因となります。最悪の場合はエンジンの破損につながります。
- 配線、配管の取り回しは周囲の部品との干渉に注意して下さい。可動部と接触したり長時間の走行や加給圧で配線、配管に傷がついたり配線ショートを起こしたりしますと本体の作動不良の原因となります。最悪の場合はエンジン破損の原因となります。

(1) 純正装着されている過給圧コントロールソレノイドバルブの2本の配管の内、IN側をゴムホースの部分の根元から外し(図中A)同梱されているホースでバルブユニットのINへ配管してください。過給圧コントロールソレノイドバルブのOUT側の配管(図中B)はソレノイドバルブから抜き盲栓をしてください。

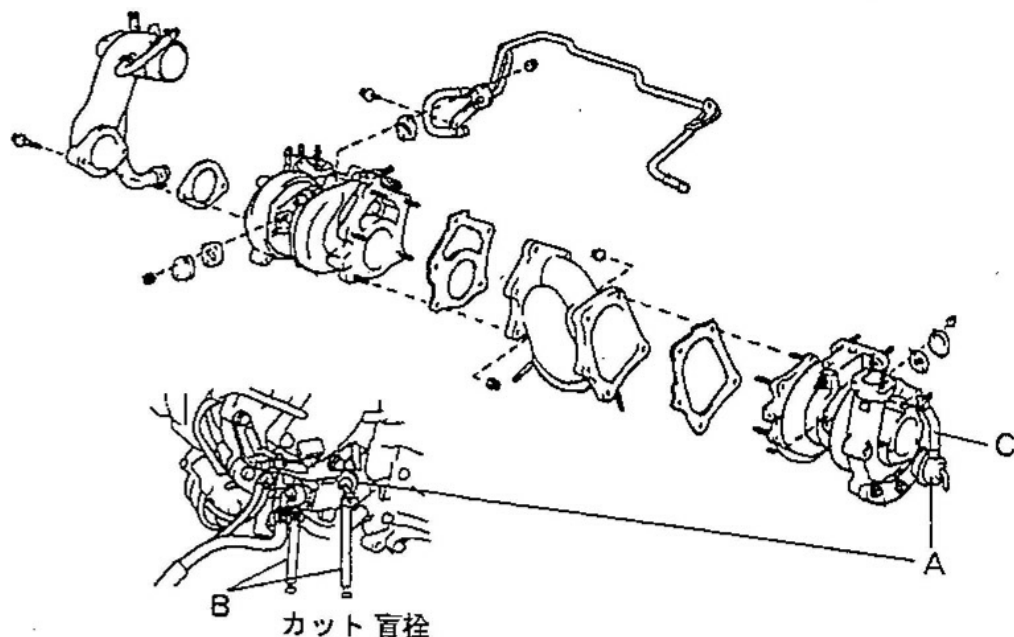
(2) 2つのターボチャージャーそれぞれについているアクチュエーターの配管(図中C)を外し盲栓をして下さい。それぞれのアクチュエーターから配管を引き(図中D)3WAY(別売)で一つにまとめバルブユニットのOUTへ配管してください。

(3) サージタンク内圧力をコントロールユニットに配管して完了です。

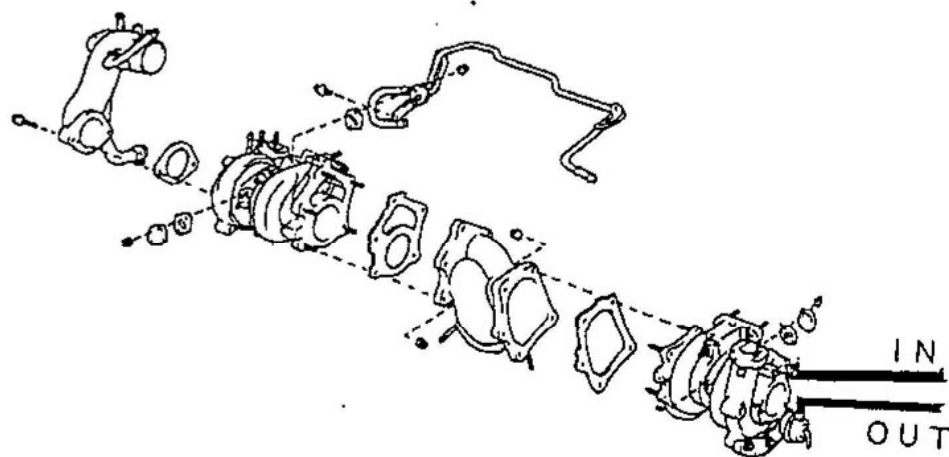


別売でS.B.Cオプションパーツの設定がございます。
(3WAY-2ヶ、ゴムホース-2m、クランプ-2ヶ)

(1) 車両フロント側プライマリー側ターボチャージャーのアクチュエーター(図中A)から2本配管が出ています。その内のソレノイドバルブに配管されている方(図中B)をカットして盲栓をします。



(2) 次に、アクチュエーターのコンプレッサーにつながるもう一つの配管(図中C)を外しコンプレッサーからバルブユニットのI Nに、バルブユニットのO U Tからアクチュエーターに配管してください。



(3) バルブユニットを固定し、サージタンク内圧力をコントロールユニットに配管して完了です。

(1) エアクリーナーボックスを取り外します。(図1)

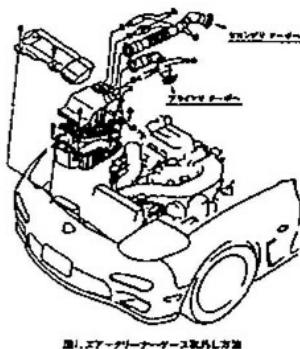
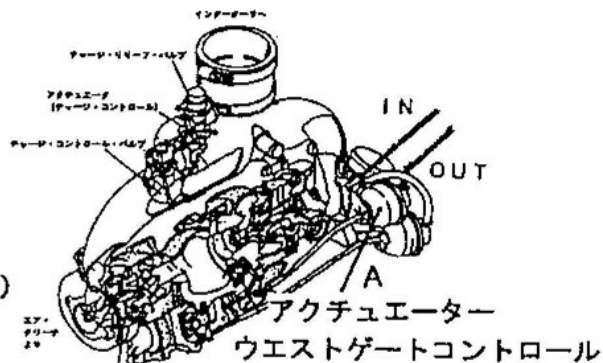
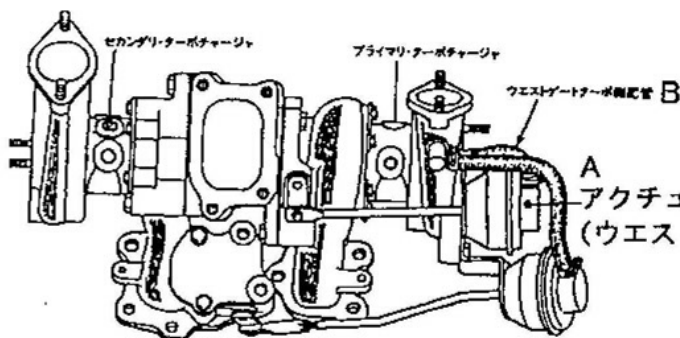


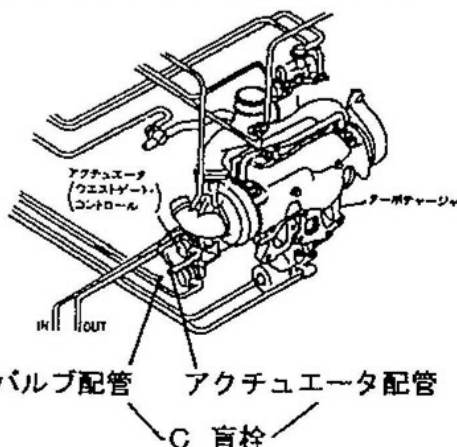
図1. エアクリーナーボックス取り外し方法

(2) 車両フロント側のプライマリーターボチャージャーの下に2つのアクチュエーターが縦に並んでいます。上側のウエストゲートコントロール用のアクチュエーター(図中A)に2本の配管があり、まずコンプレッサーにつながっている配管(図中B)を外しコンプレッサーからバルブユニットのINに、バルブユニットのOUT側からアクチュエーターに配管します。

※下側のアクチュエーターには配管しません。

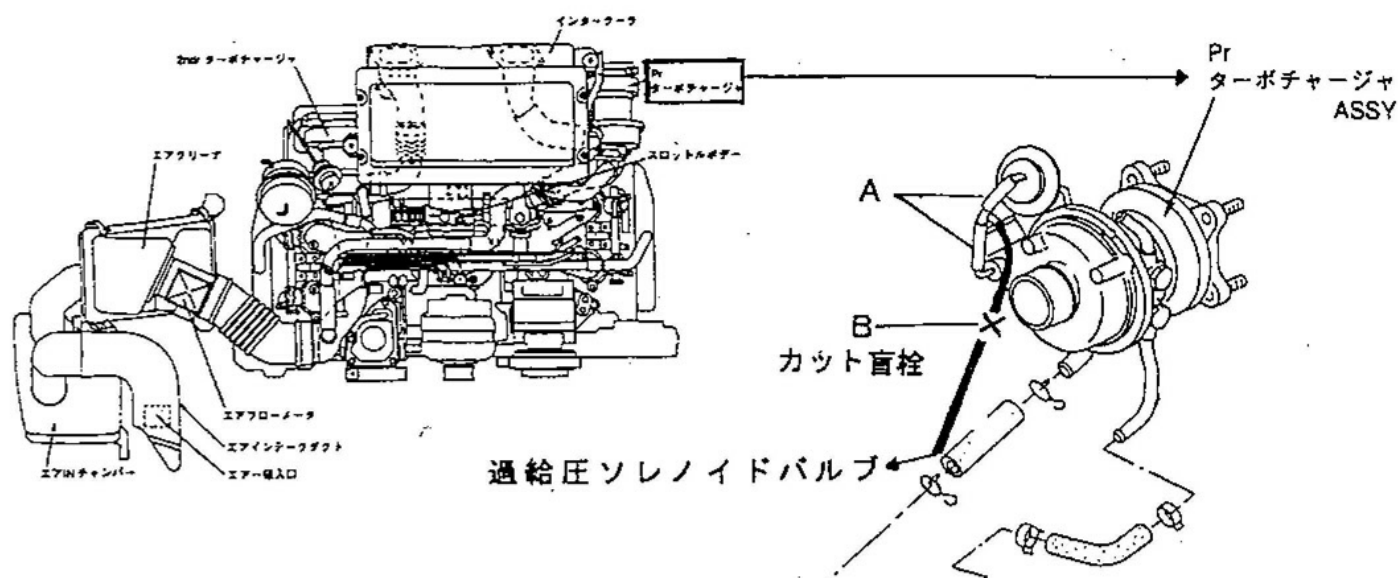


(3) 次に、(2)のウエストゲートコントロールアクチュエーター(図中A)から出ているもう一つの配管(図中C. ソレノイドバルブにつながる配管)をカットして盲栓をします。

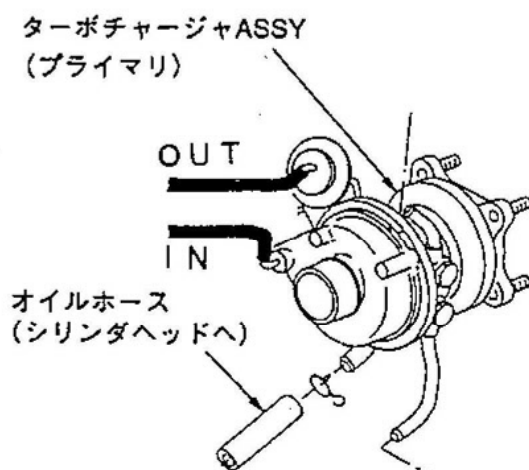


(4) バルブユニットを適当な場所に固定し、(1)で外したパーツを取り付けて下さい。
 (5) サージタンク内圧力をコントロールユニットに配管して完了です。

(1) エンジン左側プライマリーターボチャージャーのコンプレッサーとアクチュエーターをつなぐ配管(図中A)を取り外して下さい。中間に3WAYがありますが一緒に取り外して下さい。

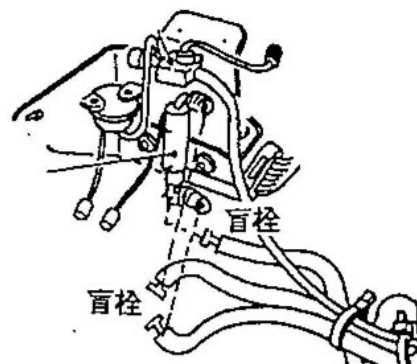
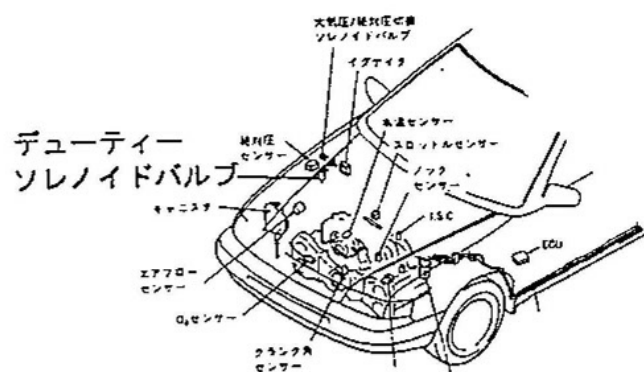


(2) (1) で外した3WAYから出ているソレノイドバルブにつながる配管に盲栓(図中B)をし、コンプレッサーからバルブユニットのINに、バルブユニットのOUTからアクチュエーターにそれぞれ配管しバルブユニットを適当な場所に固定して下さい。

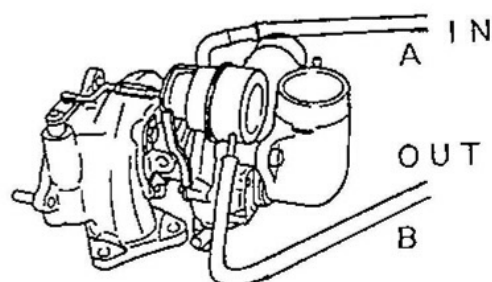


(3) サージタンク内圧力をコントロールユニットに配管して完了です。

(1)車両右側ストラット脇のデューティーソレノイドバルブから3本の配管全てを抜きそれぞれボルト等で盲栓をして下さい。



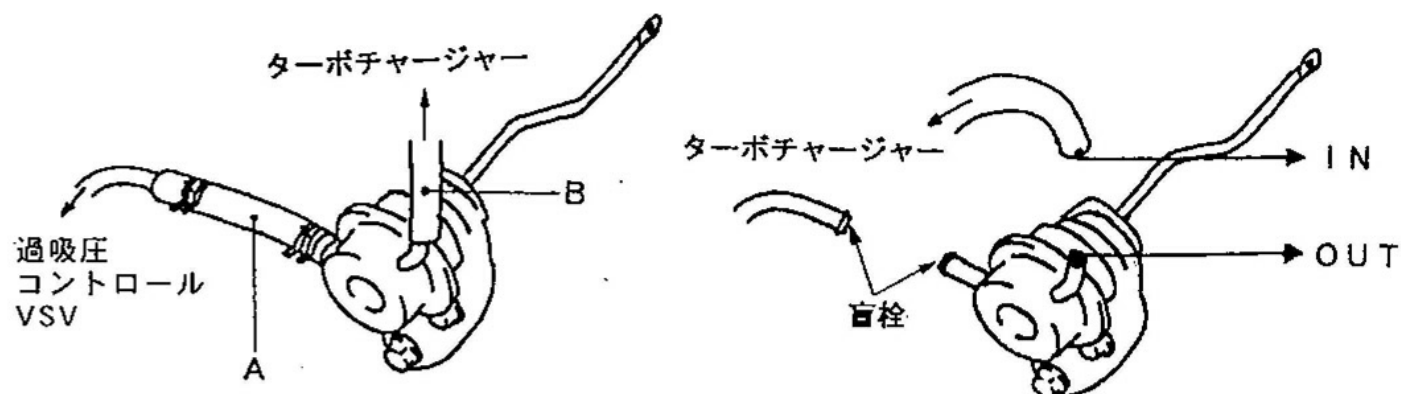
(2)ターボチャージャーのコンプレッサーからバルブユニットのINへ配管(図中A)をし、バルブユニットOUTからアクチュエーターに配管(図中B)をしてバルブユニットを適当な場所に固定して下さい。



(3)サージタンク内圧力をコントロールユニットに配管して完了です。

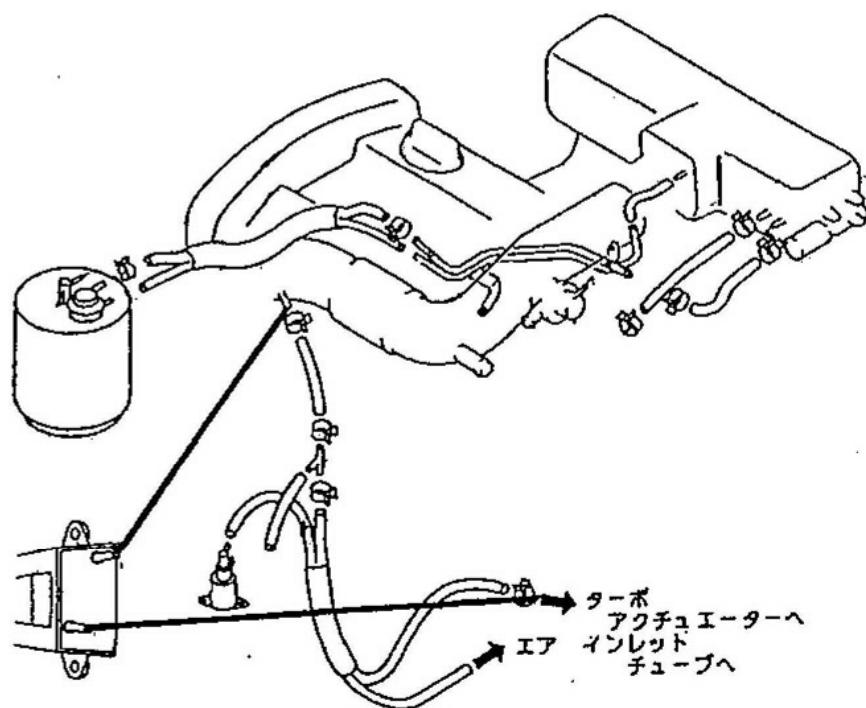
(1) アクチュエーターから2本ある配管の内、過給圧制御VSVにつながる配管(図中A)を抜き盲栓をします。

(2) 次に、アクチュエーターから出ているもう一つの配管(図中B)を抜きバルブユニットのIN側へ配管し、バルブユニットのOUTからアクチュエーターに配管してください。

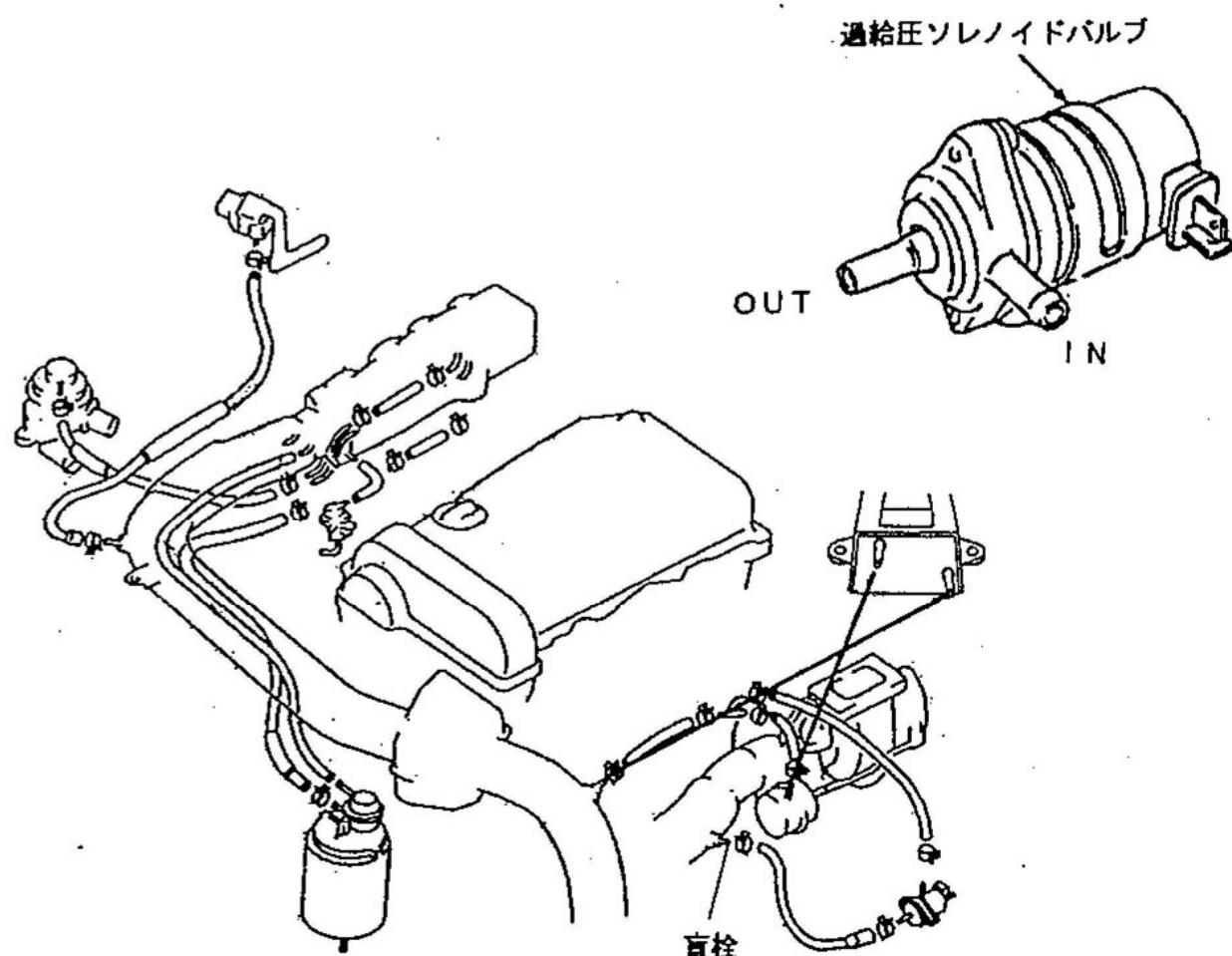


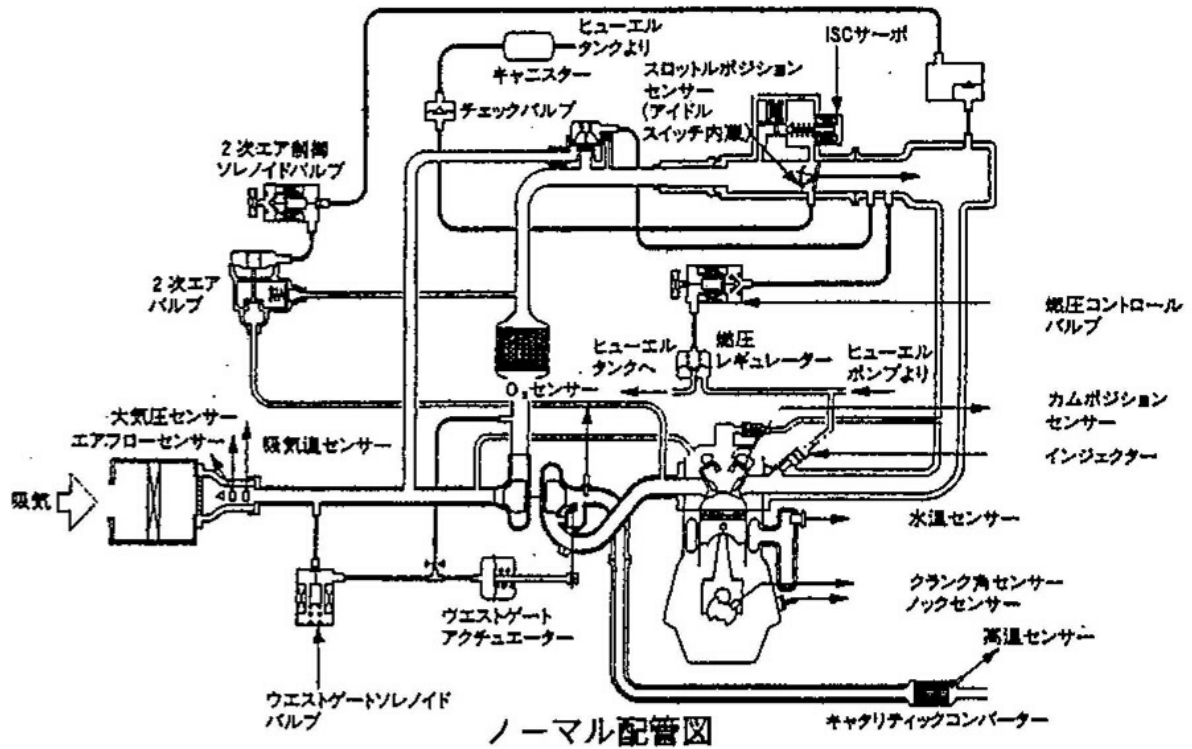
(3) バルブユニットを固定し、サージタンク内圧力をコントロールユニットに配管して完了です。

- (1) 純正装着されている過給圧コントロールソレノイドバルブの2本は配管の内、IN側をエアチューブの部分の根元から外して同梱されているホースでバルブユニットのINへ配管して下さい。
- (2) ターボチャージャーに付いているアクチュエーターの配管を外し、同梱されているホースを使用してアクチュエーターからバルブユニットのOUT間に配管して下さい。
- (3) 純正装着されている過給圧コントロールソレノイドバルブのOUT側配管を外し、エアインレットチューブに盲栓して下さい。
- (4) バルブユニットを適当な場所に固定し、サージタンク内圧力をコントロールユニットに配管して完了です。

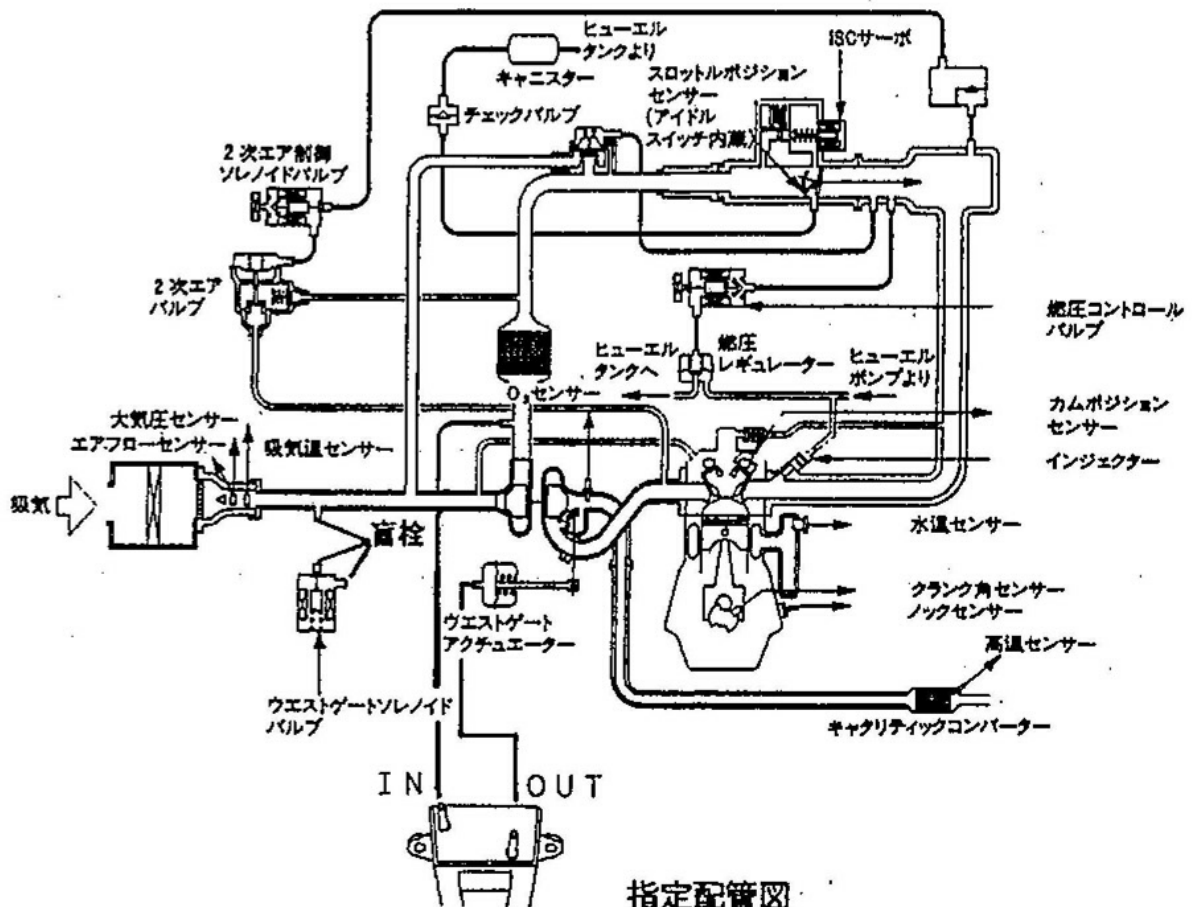


- (1) 純正装着されている過給圧コントロールソレノイドバルブの2本は配管の内、IN側をエアチューブの部分の根元から外して同梱されているホースでバルブユニットのINへ配管して下さい。
- (2) ターボチャージャーに付いているアクチュエーターの配管を外し、同梱されているホースを使用してアクチュエーターからバルブユニットのOUT間に配管して下さい。
- (3) 純正装着されている過給圧コントロールソレノイドバルブのOUT側配管を外し、エアインレットチューブに盲栓して下さい。
- (4) バルブユニットを適当な場所に固定し、サージタンク内圧力をコントロールユニットに配管して完了です。





ノーマル配管図



指定配管図

初期設定

最初に電源を入れた時以下の設定になっています。

■チャンネル	: 1
■全チャンネル共ブースト設定値	: MIN値
■ピークホールド値	: 0 Kg/cm ²
■ワーニング設定値	: 1. 0 Kg/cm ²
■リミッター設定値	: -0 (OFF)
■スクランブル設定値	: P0 (OFF)
■スクランブル設定時間	: C0 (OFF)
■GAIN値	: 5

バックアップ

IGN-OFF時に以下のものはバックアップしています。バッテリーを取り外してもバックアップされます。

■表示モード	■リミッター設定値
■設定チャンネル	■スクランブル設定値
■各ブースト設定値	■スクランブル設定時間
■ピークホールド値	■GAIN設定値
■ワーニング設定値	

仕様

■ブースト圧表示範囲	: -76 cmHg ~ 2. 5 Kg/cm ²
■ブースト設定チャンネル数	: 4チャンネル+M
■制御ブースト圧設定範囲	: 0 ~ 100 1ポイント刻み
■ピーク値表示範囲	: -76 cmHg ~ 2. 5 Kg/cm ²
■ワーニング設定範囲	: 0 ~ 2. 5 Kg/cm ²
■リミッター設定範囲	: -99 ~ -0 1ポイント刻み
■スクランブル値設定範囲	: -99 ~ 100 1ポイント刻み
■スクランブル設定時間	: 0 ~ 99 1秒刻み
■GAIN設定範囲	: 0 ~ 100 1ポイント刻み
■電 源	: DC12Vバッテリー車両対応
■LCDバックライト	: ワーニング設定時 赤色点灯 リミッター設定時 赤色点灯 ワーニング値オーバー時 赤色点灯 ワーニング値オーバー時以外 緑色点灯
■文字照明	: IGN-ON時 緑色点灯